

感染症の登園基準

別添：参考資料 S1

(学校保健安全法施行規則に準じる)

病名	潜伏期間	感染可能期間	主たる症状	登園基準
インフルエンザ	1～2日	感染後約10日	発熱、全身倦怠、筋肉痛、鼻カタル、咽頭痛、咳	解熱した後2日を経過し、元気が良いとき
百日咳	6～15日	感染後約3週	発作性咳の長期反復、持続	特有の咳が消失した時
はしか(麻疹)	10～12日	発疹出現の前後4～5日	上気道のカタル、発熱、粘膜疹、コプリック斑	発疹に伴う熱が下がった後、3日を経過し、元気が良いとき
おたふく風邪(流行性耳下腺炎)	14～24日	明らかな症状を示す7日前からその後9日続く	発熱、耳下腺、舌下腺、顎下腺の腫脹及び圧痛	耳下腺の腫れが消失したとき
三日はしか(風疹)	14～21日	発疹出現の前後7日間	腫々の発疹、軽熱、リンパ腺腫大	発疹が消失したとき
水ぼうそう	11～20日	水泡発現前2～後6日	軽熱、被覆部に発疹、斑点丘疹状→水泡→顆粒状痂皮	全ての発疹が痂皮(かさぶた)になったとき
咽頭結膜熱(アデノウイルス)	5～6日	潜伏期後半～発症後約5日間	発熱、全身症状、咽頭炎と結膜炎の合併症	解熱し、主要症状がなくなった後、2日を経過してから
流行性角結膜炎	1週間以上	発病後約2週間	軽熱、頭痛、全身倦怠、結膜炎、眼瞼浮腫、目やに	医師により感染のおそれがないと認められるまで
急性出血性結膜炎	1～2日	発病後約4日	流涙、結膜充血、眼瞼浮腫、滲出液	医師により感染のおそれがないと認められるまで
手足口病	2～7日	2～7日	感冒様症状、手足口に赤斑→水泡	医師の判断による
りんご病(伝染性紅斑)	17～18日	14～20日	顔面赤斑とくに頬部の赤斑性湿疹	医師の判断による
溶連菌感染症	2～4日	潜伏期後半～発症後約7日間	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、莓舌、頸部リンパ節炎、全身に発疹	医師の判断による
乳児嘔吐下痢症(ロタウイルス・ノロウイルス)	不定期	不定期	発熱、下痢、嘔吐	医師の判断による
感染症胃腸炎(小型球形ウイルス・SRSV)	1～3日		発熱、腹痛、下痢	医師の判断による
マイコプラズマ肺炎(うつる肺炎)	10～24日		咳、発熱、呼吸困難(重症の場合)	医師の判断による
ヘルパンギーナ	2～7日		高熱、咽頭痛、咽頭に水泡	解熱し食事もできて元気になったとき
突発性発疹	約10日		高熱、3日後に全身に発疹	医師の判断による
ヘルペス性菌肉口内炎	2日～2週間		口内炎症	
とびひ(伝染性膿痂症・皮膚化膿症)	2日～10日	水泡消滅まで	主として豆粒大の水疱 自覚症状あまりなし	医師の判断による
水いぼ(伝染性軟属腫)	14～50日		球状のいぼ	医師の判断による